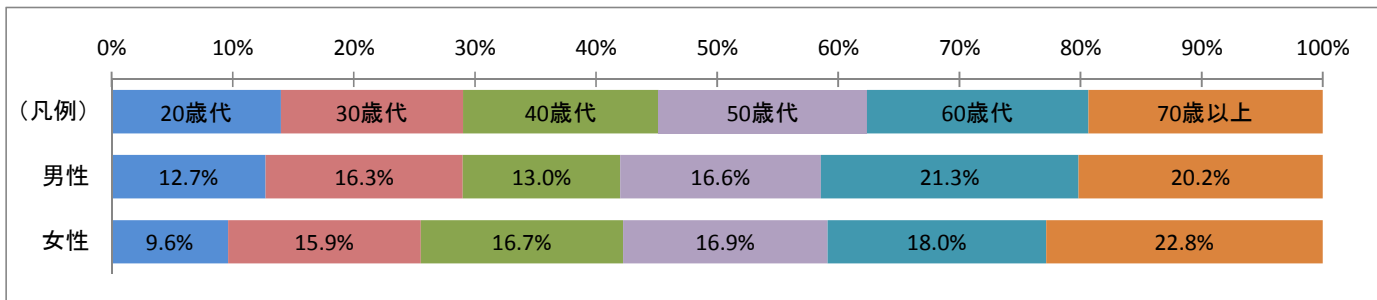


第1部 男女別クロス集計結果

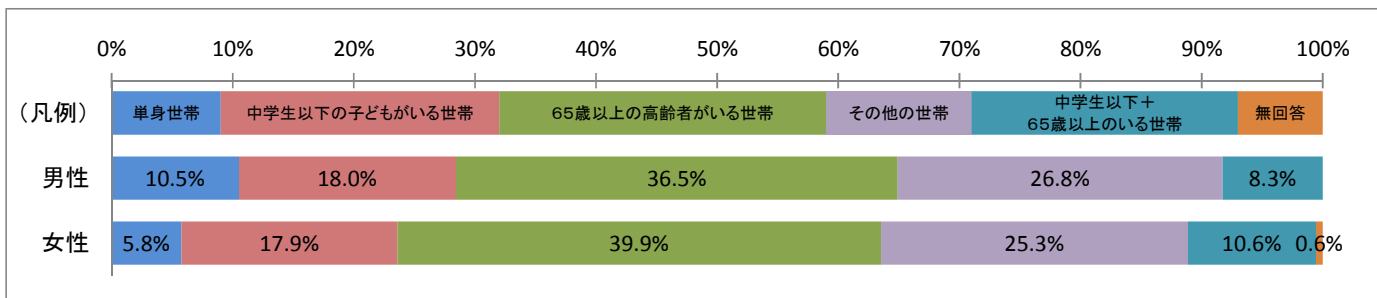
問2. 回答者の年齢

「男性」は「60歳代」「70歳以上」「50歳代」の順に多く、「女性」は「70歳以上」「60歳代」「50歳代」の順に多かった。



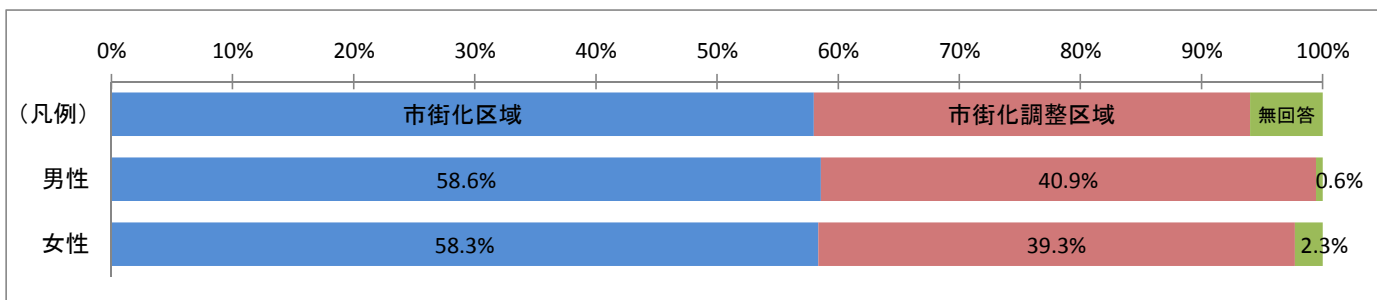
問3. 回答者の世帯構成

「男性」「女性」ともに「65歳以上の高齢者のいる世帯」「その他」「中学生以下の子供がいる世帯」の順に多かった。
「65歳以上の高齢者のいる世帯」は「男性」「女性」ともに約4割を占めている。



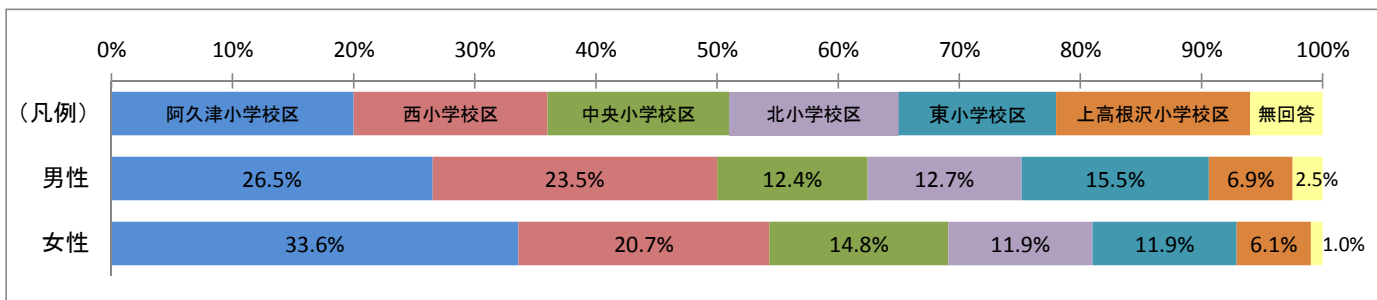
問4. 回答者の区域

「男性」「女性」ともに、「市街化区域」が多く、約6割を占めている。



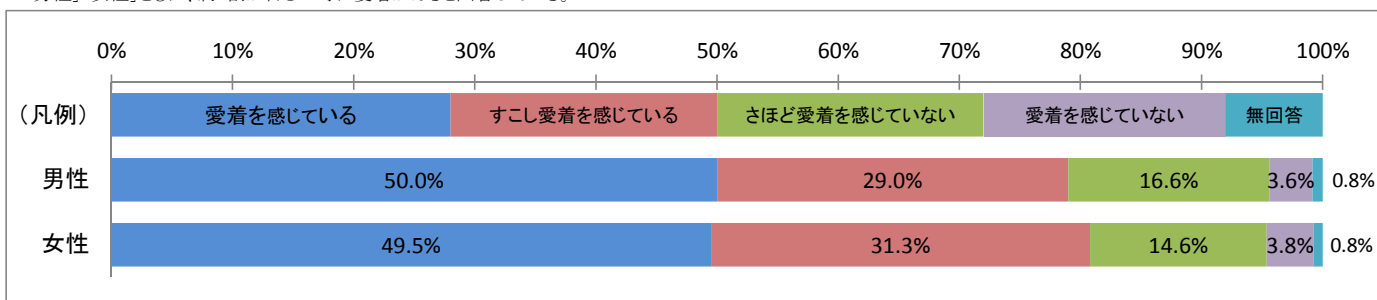
問5. 回答者の学区

「男性」は「阿久津小学校区」「西小学校区」「東小学校区」の順に多く、「女性」は「阿久津小学校区」「西小学校区」「中央小学校区」の順に多かった。
「女性」は「阿久津小学校区」が約3分の1を占めている。



問6. 回答者の愛着

「男性」「女性」ともに、「愛着を感じている」「すこし愛着を感じている」「さほど愛着を感じていない」の順に多かった。
「男性」「女性」ともに、約8割が自らの町に愛着があると回答している。

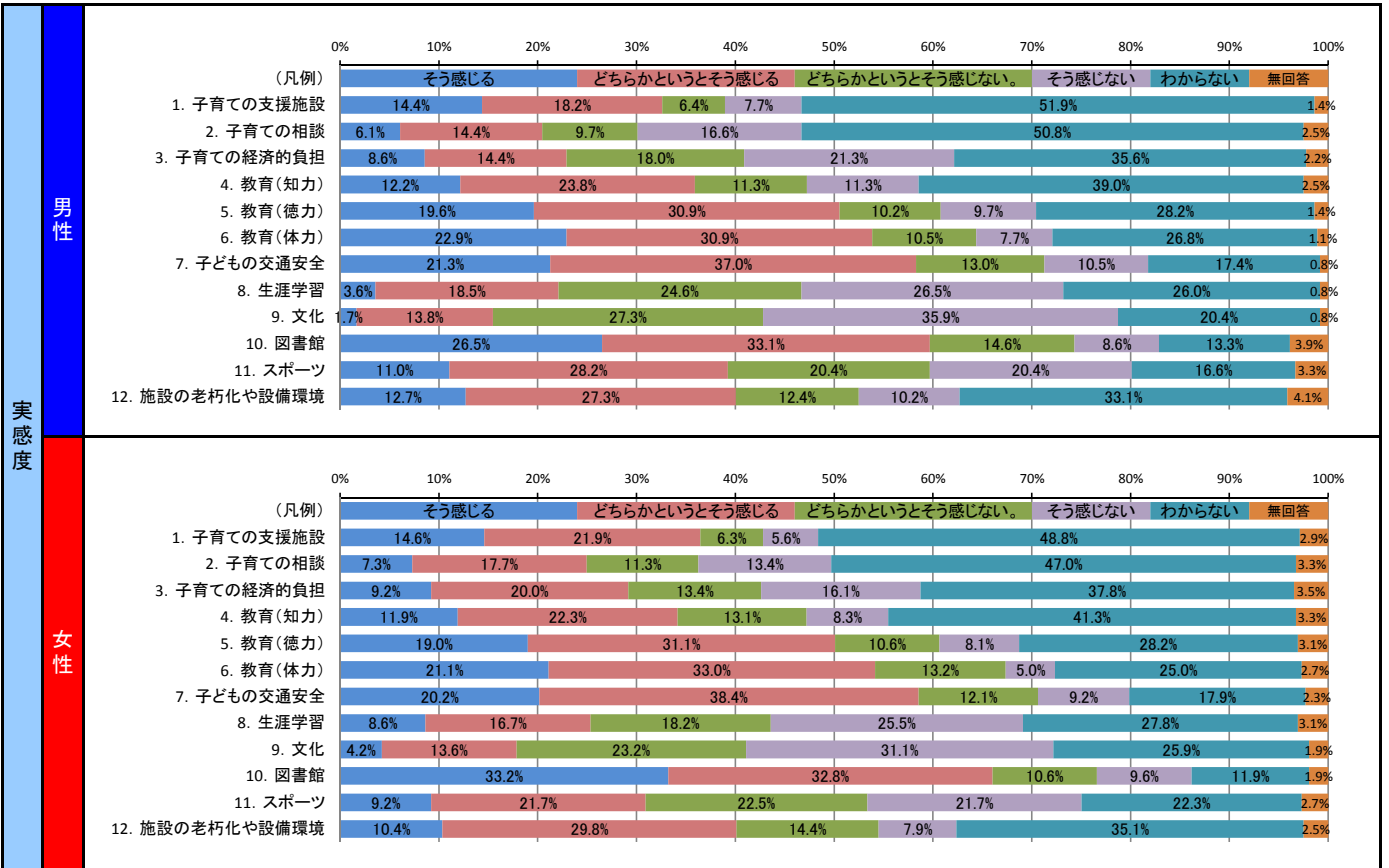


第1部 男女別クロス集計結果

問7『生活実感』について

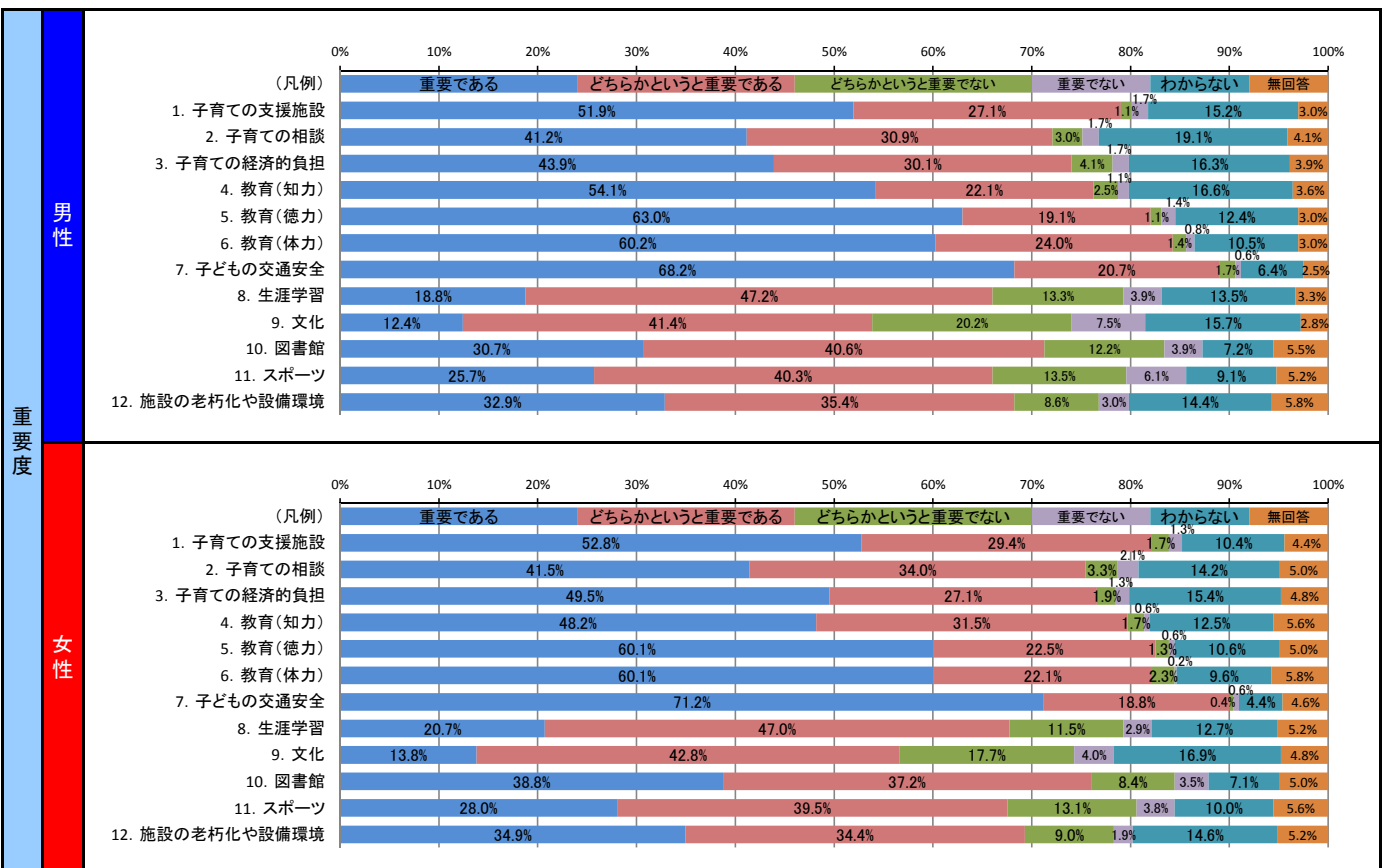
★子ども・教育・生涯学習分野 <実感度>

「男性」は「10.図書館に関する生活課題」「6.教育(体力)に関する生活課題」「7.子どもの交通安全に関する生活課題」の順で、「女性」は「10.図書館に関する生活課題」「7.子どもの交通安全に関する生活課題」「6.教育(体力)に関する生活課題」の順で「実感度」が高いとする割合が高かった。
一方で、「9.文化に関する生活課題」「8.生涯学習に関する生活課題」は、「男性」「女性」ともに「実感度」が低かった。



★子ども・教育・生涯学習分野 <重要度>

「男性」「女性」ともに、「7.子どもの交通安全に関する生活課題」の「重要度」が高いと感じている人が約9割と非常に多くなっている。
また、細かな差異はあれども、「男性」「女性」ともに、「1.子育ての支援施設に関する生活課題」から「7.子どもの交通安全に関する生活課題」にかけて、子育てや教育に関する生活課題は軒並み「重要度」が高いと感じている人の割合が高くなっており、「重要である」と回答する人の割合がいずれも4割以上となっている。

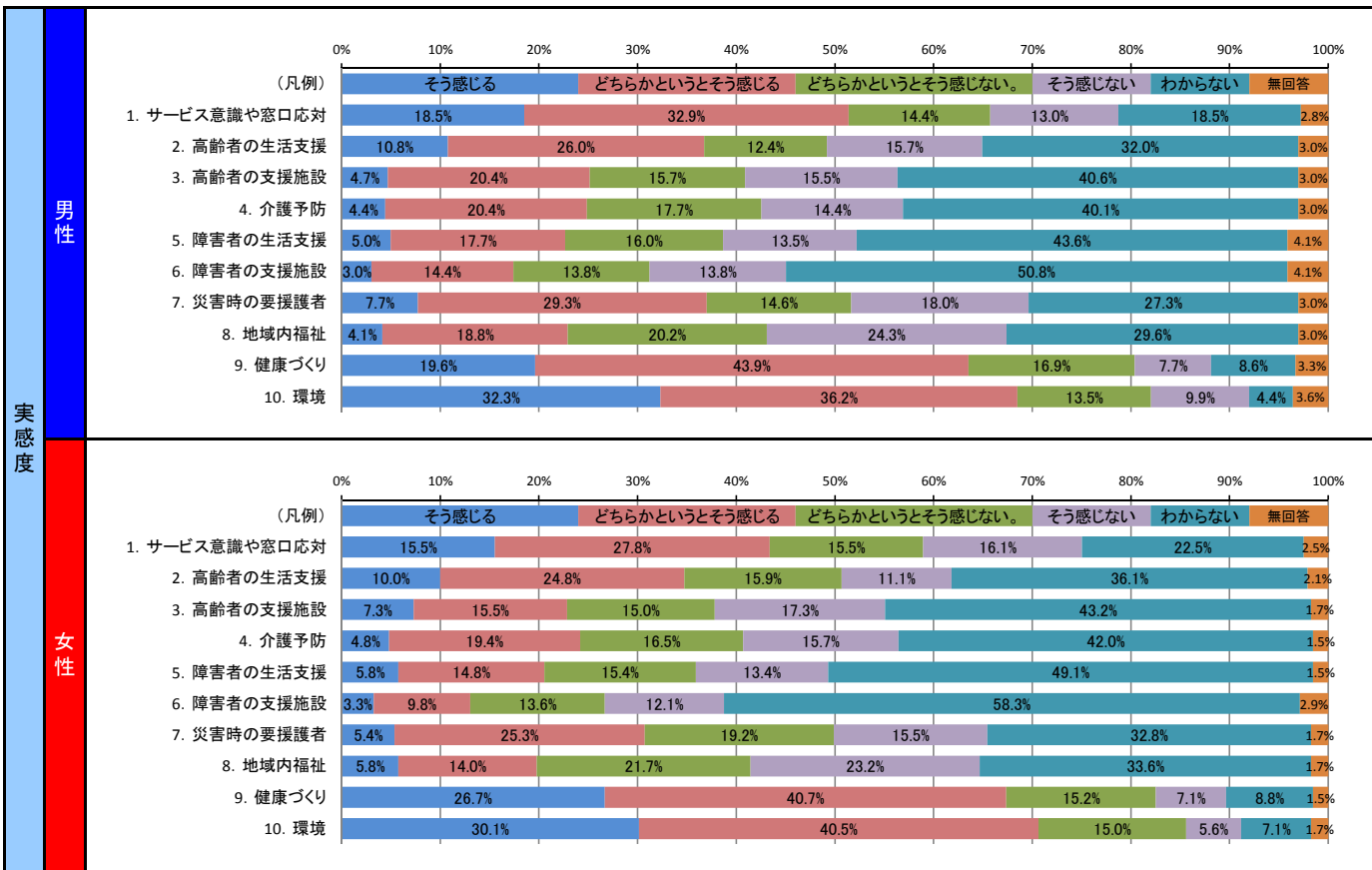


第1部 男女別クロス集計結果

★住民生活・福祉・環境分野 <実感度>

「男性」「女性」ともに、「10.環境に関する生活課題」「9.健康づくりに関する生活課題」「1.サービス意識や窓口対応に関する生活課題」の順に、「実感度」が高いとする割合が高かった。

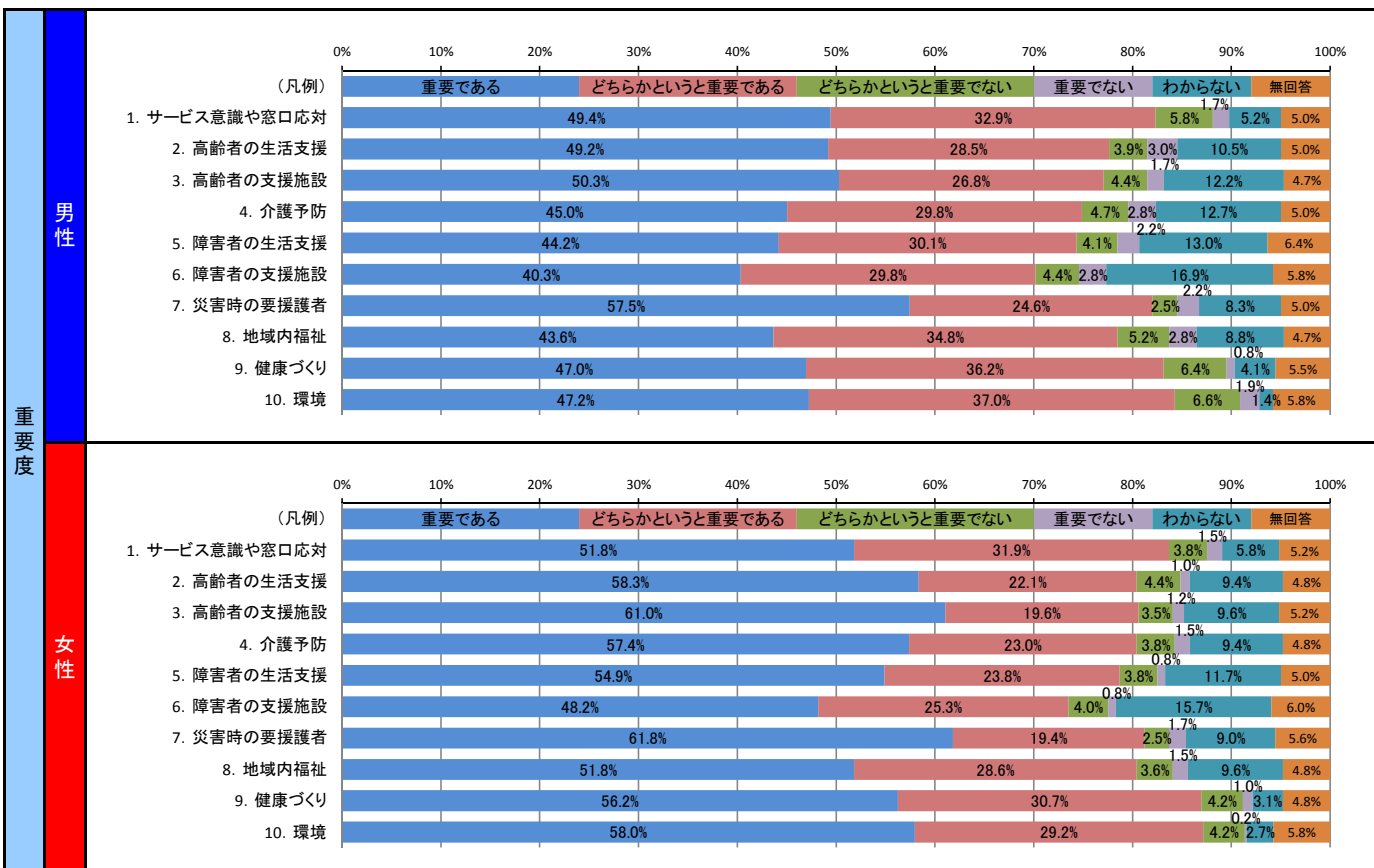
一方で、「地域内福祉に関する生活課題」は、「男性」「女性」ともに「実感度」が低く、「5.障害者の生活支援に関する生活課題」や「6.障害者の支援施設に関する生活課題」など障害者に対する生活課題については、「男性」「女性」ともに、「わからない」と回答する人が多い結果となった。



★住民生活・福祉・環境分野 <重要度>

「男性」は「7.災害時の要援護者に関する生活課題」「9.健康づくりに関する生活課題」「10.環境に関する生活課題」の順で、「女性」は「10.環境に関する生活課題」「9.健康づくりに関する生活課題」「1.サービス意識や窓口対応に関する生活課題」の順で「重要度」の割合が高かった。

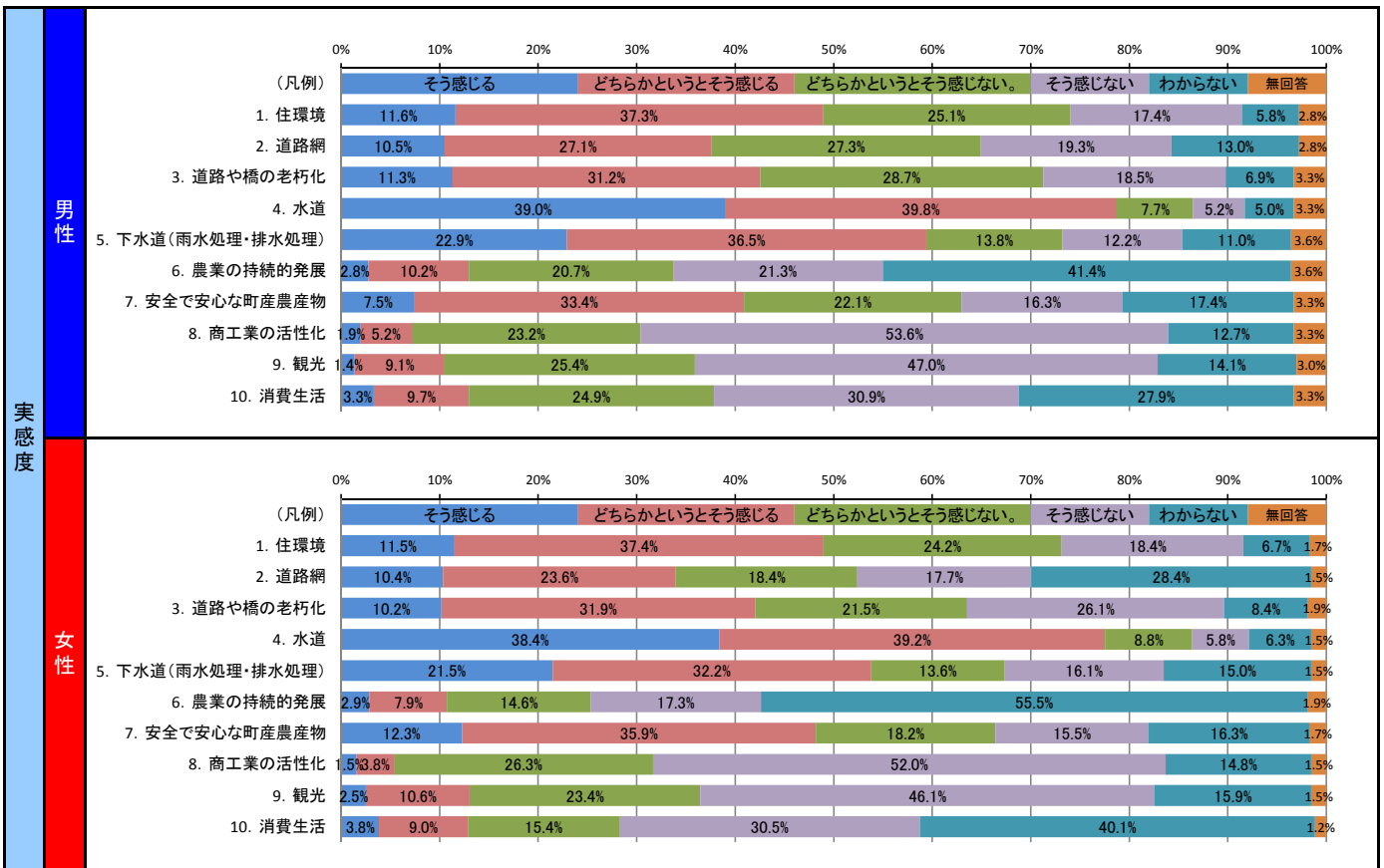
また、「男性」「女性」ともに、「7.災害時の要援護者に関する生活課題」について、「重要である」と感じている人が約6割と非常に多くなっている。



第1部 男女別クロス集計結果

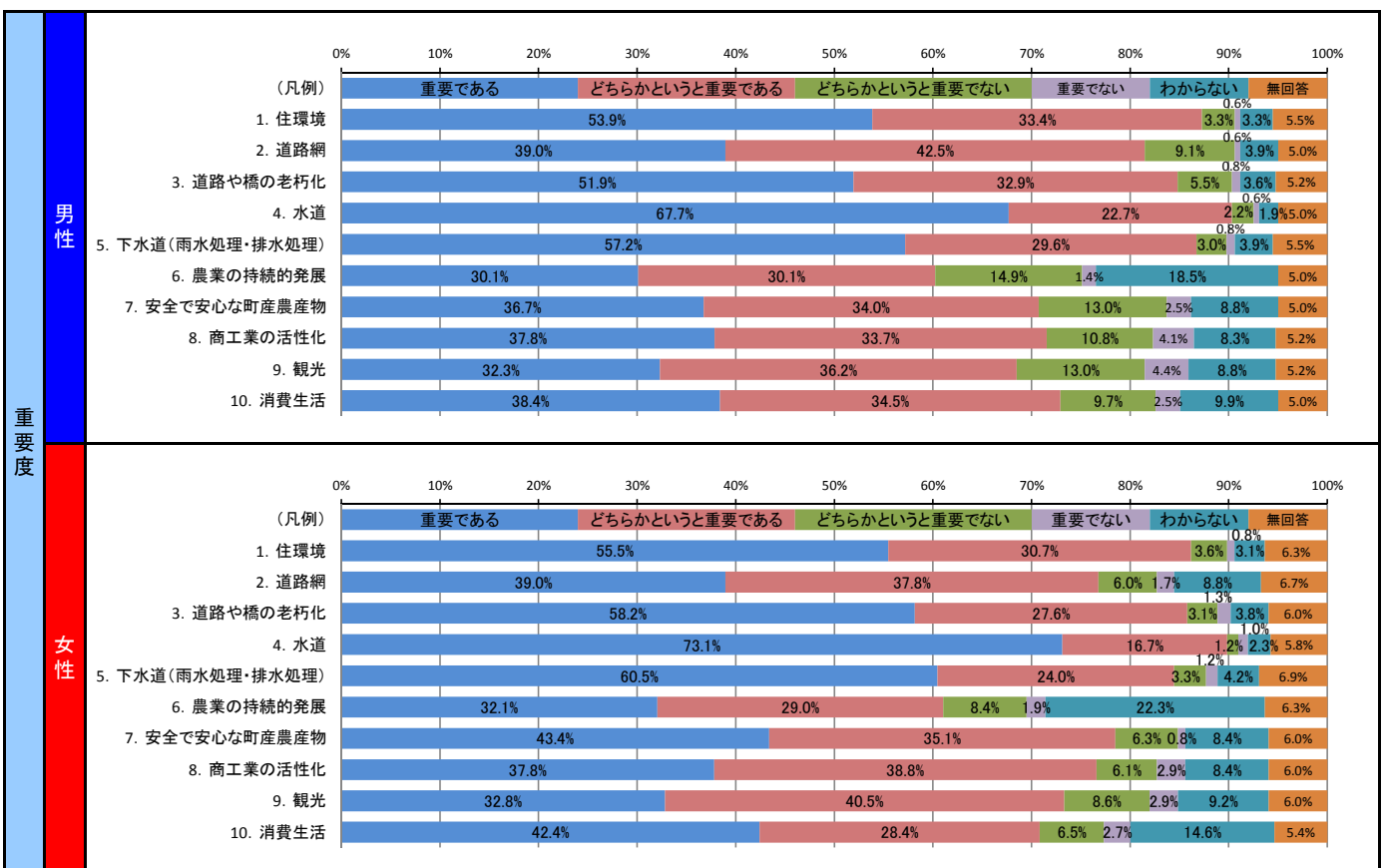
★都市整備・上下水道・産業分野 <実感度>

「男性」「女性」ともに、「4.水道に関する生活課題」「5.下水道(雨水処理・排水処理)に関する生活課題」の順に、「実感度」が高いとする割合が高かった。一方で、「8.商工業の活性化に関する生活課題」や「9.観光に関する生活課題」については、「男性」「女性」ともに、「実感度」がとても低く、「そう感じない」と回答する人の割合も約5割という結果になった。また、「女性」は「6.農業の持続的発展に関する生活課題」について、「わからない」と回答する人の割合が半数以上となった。



★都市整備・上下水道・産業分野 <重要度>

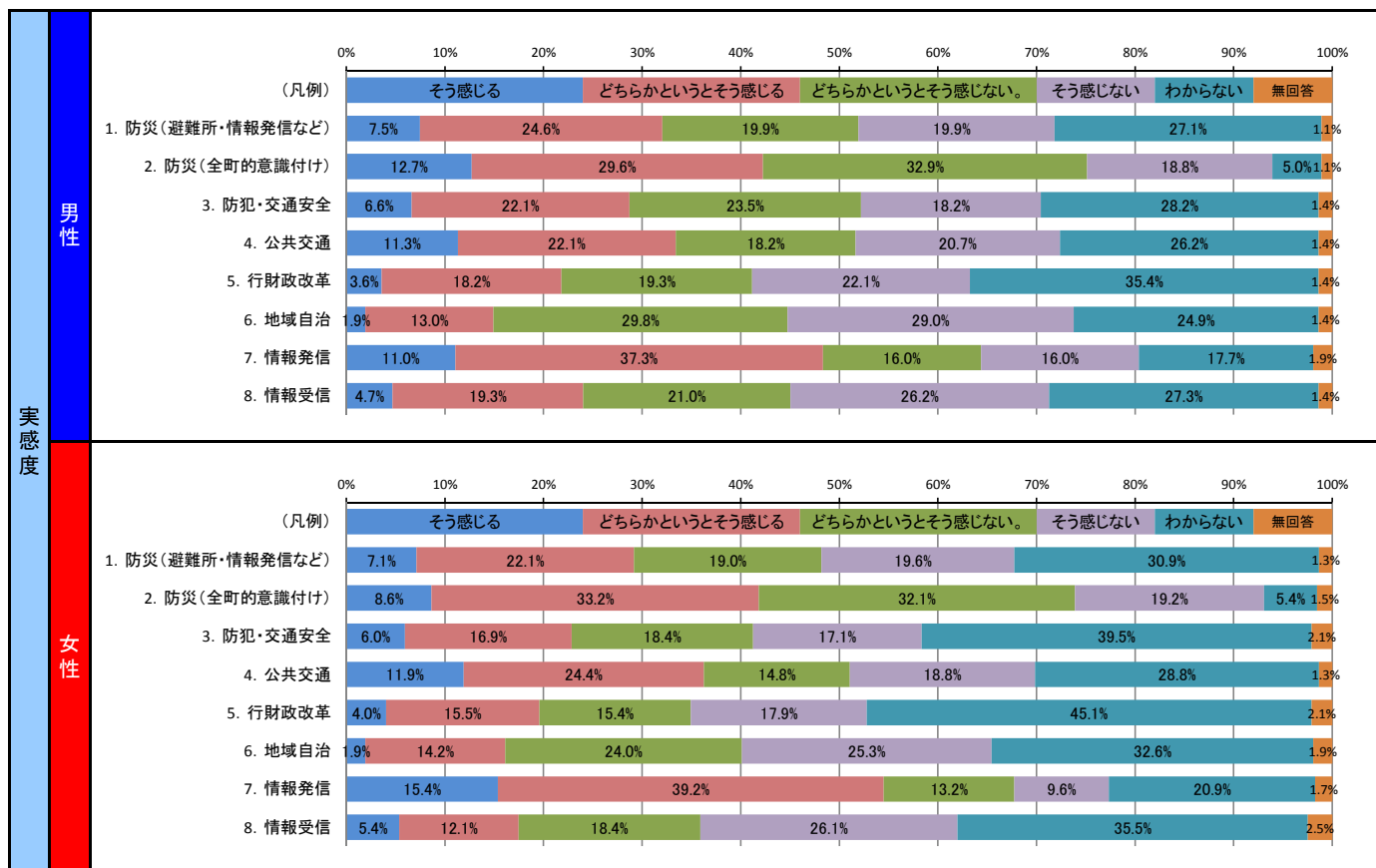
「男性」は「4.水道に関する生活課題」「1.住環境に関する生活課題」「3.下水道(雨水処理・排水処理)に関する生活課題」の順で、「女性」は「4.水道に関する生活課題」「1.住環境に関する生活課題」「3.道路や橋の老朽化に関する生活課題」の順で「重要度」の割合が高かった。



第1部 男女別クロス集計結果

★町政運営・地域自治・地域安全分野 <実感度>

「男性」「女性」ともに、「7.情報発信に関する生活課題」「4.公共交通に関する生活課題」の順に、「実感度」が高いとする割合が高かった。一方で、「6.地域自治に関する生活課題」「8.情報受信に関する生活課題」は、「男性」「女性」ともに「実感度」が低かった。



★町政運営・地域自治・地域安全分野 <重要度>

「男性」「女性」ともに、「2.防災(全町の意識付け)に関する生活課題」「1.防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」「3.防犯・交通安全に関する生活課題」の順で「重要度」の割合が高かった。

「男性」「女性」ともに、「2.防災(全町の意識付け)に関する生活課題」「1.防災(避難所・情報発信など)に関する生活課題」については、「重要である」「どちらかという重要である」の割合が8割以上と高い結果になった。

